

## 2014年6月 ITU-R WP1A 会合報告書(案)

- 【会合名称】 ITU-R WP1A 会合  
 (スペクトラム技術に関する作業部会)
- 【会 期】 2014年6月3日(火)～6月11日(水)
- 【開催場所】 スイス ジュネーブ ITU 本部
- 【概 要】

本会合は、今研究期間における第3回会合である。36ヶ国の主管庁と4のROA (Recognized Operating Agencies)、7のSIO (Scientific or Industrial Organizations)、4の地域または国際機関事務局等より計132名が参加した。日本からは、菅田氏、宮澤氏(総務省)、石田氏(クアルコムジャパン)、小川氏(電波産業会)、亀谷氏(国立天文台)、郷間氏(村田製作所)、小林氏(ドコモモバイル)、佐々木氏(デンソー)、庄木氏(東芝)、南方(トヨタ自動車)の10名が参加した。

日本、韓国、中国、ドイツ、カナダなどからの寄与文書及び前回の議長報告と他SGグループからのリエゾン文書を含め合計58件の入力文書が審議され、34件の出力文書が作成された。

本会合では、3つのWorking Group (WG)等が設置され、各議題について審議が行なわれた。会議の構成は表-1のとおりである。

また、表-2に入力文書一覧を、表-3に出力文書一覧を示す。

表-1 WP1Aの会議構成と各グループの担当議題

Working Party 1A 議長：Mr. R. Garcia De Souza (ブラジル)
Working Group 1A-1 議長：Mr. J. Shaw (英国 BBC) 担当：電力線搬送通信 (PLT) システムを含む 無線通信システムと有線電気通信の共存とその関連事項
Working Group 1A-2 議長：Mr. A. Orange (クアルコム) 担当：ワイヤレス給電システム (WPT)、無線通信業務の保護及び不要放射
Working Group 1A-3 議長：Ms. B. Sykes (米国) 担当：CATハンドブックとその他の事項

# 1 Working Group 1A-1 : 電力線搬送通信 (PLT)システムを含む無線通信システムと有線電気通信の共存とその関連事項 (議長:Mr. J. Shaw (英国 BBC))

## 1.1 電力線搬送通信 (PLT)システム

---

入力文書 : 1A/106 (WP3L) , 110(WP7D), 146 (RG Reporter)

出力文書 : 1A/TEMP/ 63

### (1) 主要結果

寄与文書 1A/146 (RG Reporter) の確認および修正作業が行われた。PLT による航空業務やケーブルテレビに対する悪影響の懸念が述べられた。PLT 機器による性能の多様性が指摘され、シリアスな干渉源になりうる懸念がまとめられている。ITU の外部団体 SDO (Standards Developing Organizations)の作業が ITU-T によって進められている broadband (G.9960 family) PLT と narrow band (SmartGrid 用の G.9955 family) PLT の標準化作業と合わない問題が指摘された。今後のこれらの団体との関係への懸念が付け加えられた。

### (2) 審議概要

#### 1) PLT による影響の確認

入力文書 : 1A/106 (WP 3L), 110(WP7D), 146 (RG Reporter)

出力文書 : 1A/TEMP/ 63

- ・ 寄与文書 1A/146 (RG Reporter) の確認および修正作業が行われた。
- ・ 4 章 (PLT work under the G.9960 & G.9955 family of Recommendations - ITU-T SG 15) について、PLC からの混信について PLT による航空業務やケーブルテレビに対する悪影響の懸念が述べられた。議長は、覚書として懸念する文書を記録した。
- ・ 4 章 (PLT work under the G.9960 & G.9955 family of Recommendations - ITU-T SG 15) と 5 章 Conclusions について、参加者から、SG1 の要約システムに欠落があり、ITU 自身が標準化について貢献するよう指摘があった。議長より、PLT レポートに、日本やカナダのテスト結果が書かれている事を確認された。参加者より PLT スタンドは、シリアスな干渉が起こるかもしれないと懸念があった。ドイツの PLT 機器には性能にヴァリエティがあると意見があり、議長が以前のドキュメントと比較してみたところ、違いがあることを確認した。
- ・ 文書 146 (§ 4 & § 5) に関して、ITU の外部にある SDO (Standards Developing Organizations) による broadband PLT と SmartGrid 用の narrow band PLT について ITU-T の認識不足を指摘した。そして、この団体と産業団体により決められた機器仕様が ITU-T 標準と合わない問題が指摘された。今後のこれらの団体との関係への懸念が付け加えられた。
- ・ 文書 1A/106 (WP3L より WP1A へのリエゾン文書) について紹介があり、興味深い情報であるとの議長意見があった。この文書に関連して IARU より会場内で PLT からの会場内への電波干渉の実演があり、1 台でも影響がある旨の意見があった。Impulse noise であることの認識について、日本のテスト結果について例を挙げながら、集積効果についてコメントがあった。
- ・ 文書 1A/110 (WP7D より WP1A へのリエゾン文書) について電波天文の周波数がこのデバイスの発する周波数と異なるので、寄与文書として採用しないという事になったが、その後、誤りの指摘があり、元に戻った。

## 1.2 Smart Grid Power Management Systems

---

入力文書 : 1A/105 Rev.1, 143 (IEEE)

出力文書 : 1A/TEMP/59, 60, 61

## (1) 主要結果

new Report 草案 ITU-R SM.[SMART\_GRID] に向けた作業文書が検討され、IEEE からの入力文書 1A/143 によってもたらされた Smart Grid の無線を基にするコンポーネントを考慮した周波数の標準化に向けての情報がアップデートされた。しかし、今回は入力文書が1通しかなく、どの周波数を選ぶかについて不確定性が大きいこともあり、今後の議論の進展は明確でない。

## (2) 審議概要

### 1) Smart Grid についての情報のアップデート

入力文書：1A/105 Rev.1, 143 (IEEE)

出力文書：1A/TEMP/59, 60, 61

新 Report 草案 ITU-R SM.[Smart Grid] に向けた作業文書が検討され、IEEE からの入力文書 1A/143 によってもたらされた Smart Grid の無線を基にするコンポーネントを考慮した周波数の標準化に向けての情報がアップデートされた。検討結果は、文書 1A/TEMP/59 にまとめられ、その内容は、ITU 内にはリエゾン文書 1A/TEMP/60 として回覧され、ITU 外の SDO にはリエゾン文書 1A/TEMP/61 として送付されることになる。

## 1.3 ビル内、家庭内での使用に適した有線及び無線システム

入力文書：1A/110 (WP 7D), 146 (RG Rapporteur) 108, 134 (ITU-T SG 15), 121 (WP 6A), 123 & 158 (WP 5B), 125 (WP 5A & WP 5C), 130 (WP 4C), 119, 126, 160 (ITU-T SG 9), 120 (WP 6A), 124 (WP 5A & WP 5C), 127 (ITU-T SG 5), 132 (WP 6A), 161 (ITU-T SG 9)  
出力文書：1A/TEMP/62, 64, 65, 66, 67, 71

## (1) 主要結果

文書 1A/146 に基づき、電気通信システムの保障、環境の中の電波周波数ノイズの超過レベル、G.9700 パワースペクトル密度 (PSD) リミットマスクの考慮、G fast と共に使用しようとするケーブル仕様と性能、J.HiNoC システムからの電波周波数エネルギー漏洩、K シリーズの勧告への ITU-R の関心事項等、漏洩電波の懸念事項について多岐にわたる項目が検討された。議論は継続中であり、関係 WP 等にリエゾン文書や情報として今回の検討内容を知らせることとなった。

## (2) 審議概要

### 1) 電気通信システムの保障

入力文書：1A/121, 1A/123, 1A/130, 1A/146, 1A/158

出力文書：1A/TEMP/62

ITU-T SG15 へのリエゾン文書 (ITU-R WP1C, 3L, 4C, 5A, 5B, 5C, 7D ヘコピー文書を転送)：甚大な干渉との等価性と回避性を適切に評価された電波周波数の使用による電気通信システムを保障すべきであるとした。BBC より建物による 20-30dB とされる減衰量に周波数依存性がある事を踏まえ、その情報をもたらしよう WP3L に指摘する事が記された。

### 2) 環境の中の電波周波数ノイズの超過レベル

入力文書：1A/106, 1A/110

出力文書：1A/TEMP/64

ITU-T SG15, 5 へのリエゾン文書 (ITU-R WP1C, 3L, 4C, 5A, 5B, 5C, 7D ヘコピー文書を転送)：電波天文の周波数がこのデバイスの発する周波数と異なるので、寄与文書として採用しないという事になったが、その後、誤りの指摘があり、元に戻った。ITU-T に対するリエゾン先を SG15 のみから SG15 および 5 に変更して承認。

### 3) G.9700 パワースペクトル密度 (PSD) リミットマスクの考慮

入力文書：1A/105 Rev.1 (Annex 3), 1A/108, 1A/110, 1A/121, 1A/123 (Annexes 1 & 2), 1A/125,

1A/134, 1A/146, 1A/158 (Annex 1))

出力文書：1A/TEMP/65

ITU-T SG15 へのリエゾン文書 (ITU-R WP4C, 5A, 5B, 5C, 7D へコピー文書を転送) : 「G7000」の語句を全て「G.9700」に変更して承認。

#### 4) G.fast と共に使用しようとするケーブル仕様と性能

入力文書：1A/105 Rev.1, 1A/120, 1A/121, 1A/123 (Annex 2), 1A/134, 1A/146

出力文書：1A/TEMP/66

BROADBAND FORUM へのリエゾン文書 (ITU-T SG15 と ITU-R WP1C, 3L, 4C, 5A, 5B, 5C, 7D へコピー文書を転送) : G.fast の PLT からのノイズ上昇の指摘があった。SDO と産業団体との関係への懸念が付け加えられた。MBW 測定バンド幅と周波数帯の不整合の懸念を SG15 に対して表明することとする。また、ポルトガルより PSD マスクの評価を付け加える必要があるとコメントがあり、PSD マスク性能を評価するツールについての疑問を呈する必要性を SG15 に対して表明することとする。マレーシアなどから航空への影響への懸念を記載するよう要求があった。BBC よりノイズの性質をもっと調べる必要があると指摘があった。欧州電気標準化委員会 (CENELEC) の活動により、ITU-T が認める PLT システムと矛盾するほどの強力な PLT レベル上昇がある事により G.fast への問題が指摘された。これらの意見を取り入れて最終案が承認された。

#### 5) J.HiNoC システムからの電波周波数エネルギー漏洩

入力文書：1A/105 Rev.1, 1A/119, 1A/123, 1A/124, 1A/126, 1A/146, 1A/158

出力文書：1A/TEMP/67

ITU-T STUDY GROUP 9、5、ITU-R WP1C, 3L, 4C, 5A, 5B, 5C, 7D へのリエゾン文書 : BBC より、CABLE TV による強い干渉がある事が指摘された。ケーブルからのリークの標準化とは何か、設置状況の評価向上について疑義がだされ、Cable TV への影響について議論された。明確な国際標準がないように見える点が指摘された。問題点は、TV 伝送が飛んでない状態で漏洩電波の測定が難しいことにあり、K シリーズの勧告に関する問題を ITU-T に検討するように記す事になった。Reference を明記する他、いくつかの文言の変更の後、承認された。

#### 6) K シリーズの勧告への ITU-R の関心

入力文書：1A/105 Rev.1, 1A/120, 1A/127, 1A/132, 1A/146, 1A/158

出力文書：1A/TEMP/71

ITU-T SG5 へのリエゾン文書 (ITU-R WP1C, 3L, 4C, 5A, 5B, 5C, 7D へコピー文書を転送) : 航空関係への影響の懸念があり、適切な影響評価実験の実施の必要性がまとめられた。T セクターが他セクターからの意見と独立に電波の EMV を実施する事への懸念が記載された。

## **2 Working Group 1A-2 : ワイヤレス給電システム (WPT)、無線通信業務の保護及び不要放射 (議長 : Mr. A. Orange (クアルコム))**

### **2.1 ワイヤレス給電システム(WPT)**

入力文書：1A/115 (CISPR), 118 (IEC-TC100), 133 (APT), 135 (TTA on behalf of the CJK WPT WG), 140 (CHN), 141+Add.1 (CG 前議長 with inputs from Qualcomm, Inc. and CISPR), 142 (A4WP), 150 (KOR), 151 (KOR), 153 (JPN), 153 (JPN), 154 (JPN), 155 (JPN)

出力文書：1A/TEMP/56(Rev.1)+Corr.1, 78, 79, 80, 81, 82, 83, 84, 85, 86, 87(WP1A-2 議長),

#### **(1) 主要結果**

- WPT 技術レポートに各国の状況が正しく反映され、その次のステップとして勧告の検討を行

うことが確認された。

- 電気自動車 (EV)・モバイル機器・家電用の WPT 技術レポート“NEW REPORT ITU-R SM.[WPT.NON-BEAM]”のドラフトが完成し、SG1 へ送付した。同レポートは日本、韓国の寄書入力をベースに、さらに CISPR、Alliance for Wireless Power (A4WP) などの返信リエゾンなどを参照し、完成させた。日本での検討周波数はそのまま盛り込まれ紹介されている。第 4 節「標準化状況」には CISPR による WPT の放射に関する法制度的見解と ICNIRP による電波からの人体保護に関する内容が盛り込まれた。日本と韓国からは技術紹介、アプリケーション、運用情報、法制度整備の状況が盛り込まれた。さらに日本からは周波数共用検討に関するまとめが本文中に、また測定データの寄書が Appendix に採用された。A4WP の情報がサービス運用の実例として Appendix に採用された。
- 周波数特定のための勧告草案に向けた作業文書“WORKING DOCUMENT TOWARDS A PRELIMINARY DRAFT NEW RECOMMENDATION ITU-R SM.[WPT]”は上述の技術レポートを参照し、各国が周波数特定の作業を行い、CG-WPT を活用しつつ次回会合で勧告化を図ることとした。“noting”に、「有害な干渉の排除」、「人体への影響に関する ICNIRP ガイドライン」、「Rec. ITU-R SM.1056 による ISM 機器の放射制限」、「Report ITU-R SM.[WPT.NON-BEAM]の内容」、が加えられた。さらに“recommends”として、(i) WPT 使用周波数のカテゴリー、(ii) WPT に最も適した無線周波数帯域、(iii) WPT 運用から電波天文業務を含む無線通信業務を守るために要求される手順、が記載された。これに伴い、日本と韓国からの提案入力は見直しになり、Annex はそのタイトル (勧告する技術分野) のみが残された。
- CG-WPT は審議を加速するため 1 年さらに継続することになった。新議長に Alex Orange 氏が就いた。
- IEC/CISPR、APT、ETSI 等の関連標準化機関等に今会合の成果物を送付し、Report ITU-R SM.[WPT.NON-BEAM]中に直接参照されている組織には同文書内容の確認ならびに ITU の研究への寄与を求める文書を発出。他の団体には ITU-R の最新検討状況を伝え、協力を要請した。
- Rec. ITU-R SM.[BEAM] (無線ビームによるワイヤレス電力伝送) については今回入力できなかったため議論を行わなかったが、外部団体へのリエゾン中に寄書依頼を入れることになった。

## (2) 審議概要

### 1) WPT 技術レポート“NEW REPORT ITU-R SM.[WPT.NON-BEAM]”の策定

入力文書： 1A/115 (CISPR), 118 (IEC-TC100), 133 (APT), 135 (TTA), 141+Add.1 (CG 前議長), 142 (A4WP), 151 (KOR), 153 (J), 153 (J), 154 (J)

出力文書： 1A/TEMP/56(Rev.1)+Corr.1

#### [ドラフト作業]

- ① 現地にて作業文書を日本と韓国の入力文書をマージして作成した。それをもとに 6 月 7 日 (金) 及び 8 日 (土) 両日を含め、10 回を超えるセッションを費やしドラフトをまとめた。
- ② 中国等から、周波数と技術についてシンプルに記述されるべきとのコメントがあり、全体を見直した。各国電波行政の具体的な情報は削除された。ただし、国際規格に有用なものと合意されれば関連する事実 (例：日本や韓国の事例) の記述が認められた。各国から確認のとれていない記述は全て削除された。
- ③ 人体防護指針として、ICNIRP の副節が追加された。イスラエルのドラフトに日本が改定提案を行い、最終案をまとめた。ICNIRP 1998 と ICNIRP 2010 も加えた。
- ④ 関連 CISPR 規格の副節が追加された。
- ⑤ 日本の EV 提案と韓国の OLEV 提案は、アプリケーションも電力も大きく異なることから、各々“Electric Passenger Vehicle”と“Heavy Duty Vehicle”とし、明確に分けた。
- ⑥ 技術用語を統一し、記述をより客観的な文言に修正した。「電磁誘導」と「磁界共鳴」は各々 magnetic induction と magnetic resonance とした。周波数は中心周波数でなく帯域で明確に記述した。Capacitive coupling については技術的記述の明確化が求められ、修正された。
- ⑦ 結論は全体の記述をまとめるのみとし、“Conclusion”ではなく“Summary”で合意。技術と周波数と電力を国名を書かずグローバルな見地で書くことが合意され、全て書き直した。

- ⑧ Appendix には次の 3 つの技術情報文書が採用された。 1)日本提案の高周波暴露に関する BWF と APT Survey Report の情報 2) 実用例として A4WP のリエゾン返信に添付された磁界共鳴技術とアプリケーション紹介 3)日本寄書のひとつである「測定データ」の文書。
- ⑨ 英国、BBC、IARU から、“Introduction” と “Summary” の各冒頭部分に「この Report は ITU-R で合意されていない周波数帯提案と可能性のある帯域外輻射レベルを含んでおり、周波数共用検討が必要で、ある地域での研究開発及び進行中の検討の概要が示されている」との旨の параグラフの追加提案があり、合意された。
- ⑩ Report の各節のタイトルは記述修正内容にあわせて見直し、次で合意した：1.Introduction; 2. Applications developed for use of WPT technologies; 3.Technologies employed in or incidental to WPT applications, 4.WPT’s standardization situation in the world (incl. CISPR and ICNIRP); 5. Status of spectrum; 6.Status of national regulation; 7.Status of co-existence studies between WPT and radiocommunication services, including the radio astronomy service; 8.Summary; Appendix: 1) RF exposure information, 2) Implementation example of 6.78MHz magnetic resonant systems, 3) Measurement data

[ドラフト作業中に上げられた関連議論]

- ⑪ EV アプリケーションにつき、イスラエル、英国、ドイツから質問があった。日本から、その技術的特徴とともに BWF, IEC, SAE, JARI の関係、標準化目標（インターオペラビリティの確保）、具体的な検討中の周波数範囲を紹介し、理解を得た。
- ⑫ Non-ISM 帯域について、特に数 10kHz～数 100kHz の周波数範囲で既存のシステムとの共存について懸念が出された。イスラエルは韓国 OLEV(75kW-100kW)について潜水艦など海軍の通信機器の周波数範囲（20kHz）との共存に強い懸念を示した。
- ⑬ イスラエルは、放射規制値に関し日本が EV 最悪条件想定測定データを公開したのに対し、韓国 OLEV について質問した。韓国は CISPR11 を参照しているが、150kHz 以下であるため独自基準を適用と回答。
- ⑭ Appendix 3)日本寄書「測定データ」に関し、6GHz まで測定した理由をイスラエルが質問。日本は関連する機器の帯域を考慮したことを説明。イスラエルはその考えに賛同した。
- ⑮ イスラエルとポルトガルは、公衆環境で EMF から人を守るための適切な WPT 使用表示の必要性に言及した。

## 2) WPT に関する勧告草案に向けた作業文書 “WORKING DOCUMENT TOWARDS A PRELIMINARY DRAFT NEW RECOMMENDATION ITU-R SM.[WPT]” の策定

入力文書：1A/141+Add.1, 150, 155

出力文書：1A/TEMP/83

- ① 現地にて、日本と韓国の入力(1A/150, 155)をマージした作業文書を作成した。WP1A-2 は基となる Question 210-3/1 の記述まで遡りレビューした。その結果、“noting” と “recommends” の paraグラフを大きく修正した。
- ② “noting” では、これまでの IEC TC100, IEC TC69 および各関連団体活動に加え、「既存システムへの有害な干渉を起こさないこと」、「人体への影響に関し ICNIRP ガイドライン」、「Rec. ITU-R SM.1056 放射許容値および CISPR11」、「REPORT ITU-R SM.[WPT.NON-BEAM]」内容」が盛り込まれた。
- ③ “recommends” では、昨年の勧告草案に向けた作業文書中に Question 210-3/1 内容に対して明確な勧告内容の記載がなかったため、改めて勧告内容の明確化が行われた。新たな作業文書の “recommends” は以下：(i) WPT 使用周波数のカテゴリー、(ii) WPT に最も適した無線周波数帯域、(iii) WPT 運用から電波天文業務を含む無線通信業務を守るために要求される手順。
- ④ これに伴い、日本と韓国からの提案入力は見直しになり、Annex はそのタイトル（勧告する技術分野）のみが残された。作業文書(TEMP/83) は次回会合へ持ち越された。“recommendation” の新規提案が求められた。

### 3) CG-WPT の 1 年間延長合意

入力文書：1A/141+Add.1

出力文書：1A/TEMP/77

CG-WPT 期間の 1 年間延長が合意された。CG-WPT の入力期限は次回 WP1A (2015 年 6 月 3 日～) の 1 ヶ月前である。議長は Alex Orange 氏。ToR (TEMP/77)は 2013 年 6 月以降の作業進展と WPT 技術レポートの WP1A-2 でのドラフト完を受けて修正されているが、Question 210-3/1 に基づく方針に変わりはない。今 WP1A 会合の終了に伴い、議論の場は CG-WPT に移る。

### 4) WPT 周波数の法制度的状況についての議論

入力文書：1A/140(CHN)

出力文書：(なし)

中国から、WPT の法制度的な扱い(regulatory status)は ISM か SRD かが提起され議論した (1A/140)。通信機能の有無、放射特性、また、CISPR でも ISM との考えが支持されていることから ISM が適当との意見が多くを占めた。この質問は WP1B でも議論されたが、WP1A で WPT の諸検討が進行中であるため何もアクションがとられなかった。本件は継続検討される。

### 5) CISPR との WP1A レポータ必要性

CISPR で 9kHz-150kHz の規定がないことが何度も取り上げられた。CISPR との連携の必要性は会合中何度も多くの参加者から指摘された。WP1A からレポータを出す必要性が挙げられた。イスラエルより日本から人を出してはどうかとの提案があった。議論は SG1 へ上げられることになった。

### 6) WP1B との連携

- ① WP1A での WPT 議論は周波数範囲と送信電力を調査・検討しており、WP1B((Spectrum management methodologies and economic strategies )での審議が必要との意見がたびたび出された。会合中、WP1B でも WP1A との連携が議論されたが結論は出なかった。また、WP1A で審議中のため WP1B では時期尚早として今会合では WP1A でのみ議論された。
- ② 周波数は WP1B の所掌範囲であり、次回から WP1B でも議論され、勧告の議論では WP1B の関与が不可欠であることが確認された。日本から、WP1A と WP1B で別々に行うことは審議する場所とリソースが分割され有効でないとの意見した。

### 7) 関係団体へのリエゾンの作成

入力文書：1A/115 (CISPR), 118 (IEC-TC100), 133 (APT), 135 (TTA), 142 (A4WP)

出力文書：1A/TEMP/78,79, 80, 81, 82, 84, 85, 86

WPTに関連した組織・団体へのリエゾン文書を発出した。IEC/CISPR、APT 等の関連標準化機関等に今会合の成果物を送付し、Report ITU-R SM.[WPT.NON-BEAM]中に直接参照されている文書内容の確認ならびに今後の ITU の研究に寄与を求める内容が記載されている(TEMP/78, 79, 80, 82, 85, 86)。他の関連団体・組織にも ITU-R における最新状況が伝えるとともに、協力を求めている(TEMP/84)。また、今会合で入力がなく議論されなかった SM.[BEAM]に関し、URSI (ICWG on SPS) を含む外部団体に対し、今後の協力依頼のリエゾン文書を送ることになった(TEMP/81)。

### 8) 各国のサポート状況

- 米国： モバイル機器用周波数の特定を先行すべき。EV 用は高出力も想定し ISM 帯としての取扱いを含め時間が必要。
- 英国： ラジオ帯や人体への影響を考慮すべきで、技術検討の内容の確認に時間が必要。
- 独国： 国内の議論が成熟していないため早急な結論を出すべきではない。
- フランス： 欧州の SRD 規制値からは問題ない。国内に関連産業もあり協力したい。
- オランダ： フィリップスも関心があり協力したい。ETSI の検討が追い付いていない。

- イスラエル：WPT レポートは有用。特に高出力 EV（バス等）は、潜水艦通信帯、ラジオ帯、人体への影響に配慮すべき。
- 中国： 技術レポートは問題ない。
- 韓国： モバイル機器用に加え、高出力 EV 用も勧告化すべき。
- 日本： 次回 SG1 で乗用車用 EV 等の周波数特定を図り、高出力 EV 等の議論は ISM 帯としての分配を含め将来の WRC で議論すべき。

## 2.2 無線通信業務の保護

---

入力文書：1A/129(CISPR SC-H)

出力文書：1A/TEMP/55(Rev.1)

### (1) 主要結果

入力文書 1A/129 (Liaison to ITU-R on the Database for the protection of radio services) に関しては ITU-R 以外で無線業務のデータベースを作成することはリスクや困難があるとして、CISPR に対してウェブサイトから最新の ITU-R 勧告及びレポートを参照することを提案するリエゾン文書を発出した。

## 2.3 不要放射

---

入力文書：1A/114 (WP 4A), 116 (WP 5D), 138 (GER), 139 (Austria , Croatia, Denmark , Finland , Germany, Netherlands, Slovenia, Switzerland, UK), 144 (GER), 147 (CAN)

出力文書：1A/TEMP/ 75, 76

### (1) 主要結果

- 1) 「広帯域通信システムに使用するデジタル変調技術の帯域外およびスプリアス領域の不要輻射特性」に関する新 Question の草案と関連作業文書の議論を行った。GER (CEPT) から提案された新 Question 草案入力文書(1A/138)およびカナダからのコメント入力(1A/147)は次回会合に繰り越しとなるとともに、コメント入力求められた。
- 2) この研究には多くのサポートがあった。新レポート草案 ITU-R SM.[CHAR-UNWANTED] の作業文書(1A/TEMP/76)は入力文書 1A/139 と 1A/144 を基に修正された。この新しい活動は関連 WP(WP 1B, 1C, 4A, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 6A, 7B, 7C, 7D)にリエゾン(1A/TEMP/75)で通知されることになった。

## 2.4 Rec. ITU-R SM.1541

---

入力文書：(なし)

出力文書：1A/TEMP/ 72, 74

### (1) 主要結果

WP6A からのリエゾンへの返信として、Rec. ITU-R SM.1541 のエディトリアル修正を行った。内容は ITU-R の報告書と勧告の改定への今日では不要なレファレンスを削除する内容である (1A/TEMP/72)。リエゾン文書 (1A/TEMP/74) が用意され、修正内容とともに、SG1 へ発出することになった。

## 2.5 レーダー周波数利用効率向上のための改良された帯域外ロールオフ特性

---

入力文書：1A/122 (WP 5B)

出力文書：1A/TEMP/73

#### (1) 主要結果

WP5B からの「レーダー一周波数利用効率向上のための改良された帯域外ロールオフ特性」に関するリエゾン（1A/122）が検討された。しかしながら、現時点では WP5B の状況に変化があれば通知してもらうこととし、アクションはとらないこととした。リエゾン返信案（1A/TEMP/73）にはその旨記載されており、WP1A で審議してもらうこととした。

### 3 Working Group 1A-3 : CAT ハンドブックとその他の課題（議長: Ms. B. Sykes（米国））

#### 3.1 CATハンドブック

---

入力文書：1A/145 (R&S), 1A/148 (RG Rapporteur), 1A/149 (韓国)

出力文書：1A/TEMP/58

#### (1) 主要結果

今会合では 2 件の寄書と RG への寄書 1 件を審議するとともに、1 月の RG 会合の結果の見直しを行い、ハンドブックの各 Chapter、各 Annex、Glossary の全ての文書の審議が終了し、SG1 に送付した。

#### (2) 審議概要

##### 1) CAT ハンドブック草案に向けた作業文書

入力文書：1A/145 (R&S), 1A/148 (RG Rapporteur), 1A/149 (韓国)

出力文書：1A/TEMP/58

RG レポーターが不在であったが、議長から RG レポートの紹介があった。これに対して、イスラエルからマーケットと関連すると思われるテキストについては削除することが前回合意されていたとの指摘があった。

韓国からの寄書に対してイスラエルからライセンス、データベース等が欠落しており単なるツールの紹介でないかとの指摘と、タイトルにある Intelligence の Engineering への変更提案もあったが、Annex 7 として追加することが合意された。

R&S からの寄書に対しては、米国から各 Annex にはスペクトラム管理を中心に記載するガイドラインがあるのに対して、スペクトラム監視の項目が多すぎるように見受けられるとの指摘があり、さらに TCI が担当した Annex では多くの項目がスペクトラム管理に関する内容であるとの説明があったために、監視の部分を削除することになった。さらに TCI から図 6 が本文で全く触れられていないために削除の提案が行われ、議長からも Annex 作成のガイドラインはページ数を削減すること、スペクトラム管理とスペクトラム監視の混在を避けることであるとの発言を受けて、図 6 の削除と追加文書の削除が行われ、Annex として追加することが合意された。

ATDI からの RG への寄書については、米国から箇条書きの構成では情報が少ないこと、さらに寄書の内容が ATDI のホームページからのコピーが多くみられるとの指摘があり、さらにロシアからの技術情報を追加した方がベターとの発言があったために、修正を行い Annex として追加することが合意された。

TCI が入力した Annex に対して、「TCI の監視システムも他のシステムに使用されている」との情報を追加したいとの発言が TCI からあったために、追加されてその Annex の内容も合意された。

特に、議論のあった Annex に関する審議概要を下記に記す。

Annex 4 では、イスラエルから広告的な表現を使わないことがすでに合意されているはずであるとの指摘があったが、ロシアからは本内容は前ハンドブックでも使われており問題がないとの回答があった。さらに米国からも商業的な資料は見当たらないとの発言もあったために、一部工

ディトリアル修正して合意。

Annex 6 では、1 月にすでに内容を改定しているとの説明が LStelcom からあった。アネックスの長さについても 8-10 ページ以内が、さらに体裁は ITU 事務局が整えることが確認された。

Annex 8 では、イスラエルから Annex の順番として主管庁ものから民間ものに並べ替える見直し提案あったためにその方向で修正することになった。

Annex 9 では、ここで説明されているアプリがアネックスの内容として適切かどうかの質問がイスラエルからあったが、ロシアからスペクトラム監視用アプリとの回答があり、合意された。

Glossary：掲載すべき用語の範囲について、ロシアと米国からは初心者を対象とすべき、スウェーデンからはそれなりの知識を有する者を対象とすべきとの発言があったが、議長からは BR からのコメントをすでに反映しているとの説明があったために、現行案でまとめることが合意された。

## 3.2 275-1000GHz帯における能動業務

---

入力文書：1A/156(日本)

出力文書：1A/TEMP/57, 68, 69

### (1) 主要結果

日本から入力した改定案が合意され、米国からのコメントを反映した作業文書の新レポート草案への格上げを行った。さらに、IEEE へ情報提供を求めるための、WP7C と WP7D へコメントを求めるためのリエゾン文書を送付した。

### (2) 審議概要

#### 1) 275GHz 以上で運用される能動業務に関する新レポート草案に向けた作業文書

入力文書：1A/156(日本)

出力文書：1A/TEMP/57

日本からの提案に対して、米国からエディトリアルな修正と新セクション 6「受動業務との共用のための初期検討」の追加提案があった。さらにレポート草案への格上げ提案についても米国からの支持があり、合意に至った。なお、新セクションについては editor's note が追加され、各主管庁に対して 275-1000GHz 帯での共用検討結果があれば提供することが依頼されている。

#### 2) 275GHz 以上で運用される能動業務に関する新レポート草案に向けた作業文書に関するリエゾン文書

入力文書：1A/156(日本)

出力文書：1A/TEMP/68, 69

レポート草案のセクション 5 では、ITU 以外の国際標準化機関での 275GHz 以上の周波数帯における標準化動向を掲載するために、IEEE802.15.3d で行われている情報を提供してもらうためのリエゾン文書を日本と米国で作成した。さらに関連 WP として WP7C と WP7D にレポート草案の内容に関してコメントを求めるリエゾン文書を日本と米国で作成し、送付した。

なお、プレナリーではイスラエルから 275GHz 以上の周波数帯では能動業務への分配が行われていないこと明確にするために、IEEE へ送付するリエゾン文書の第 1 パラグラフでの「275GHz 以上の周波数帯」を「275GHz 以上の受動用周波数帯」とする変更提案が行われたが、原案で合意された。

### 3.3 Rec. ITU-R SM.1132

---

入力文書 : Annex 17 to Doc. 1A/105 (Rev.1)

出力文書 : 1A/TEMP/54

**(1) 主要結果**

勧告改定草案に格上げされた。

**(2) 審議概要**

**1) 勧告 SM.1132-2 の改定草案に向けた作業文書**

入力文書 : Annex 17 to Doc. 1A/105 (Rev.1)

出力文書 : 1A/TEMP/54

今会合では入力文書はなかったが、米国提案によって作業文書から勧告改定草案に格上げされた。

### 3.4 WP1Aに割り当てられているITU-R勧告の重要な要素の識別

---

入力文書 : 1A/157 (SG1 Co-Rapporteurs)

出力文書 : なし

**(1) 主要結果**

特段の議論なくノートされた。

表-2 入力文書一覧

文書 番号 1A/	提出元	表題	
105	Chairman, WP1A	REPORT OF THE MEETING OF WORKING PARTY 1A	WP1A 会合の報告
106	WP 3L	Liaison statement to Working Party 1A - Noise characteristics of PLT devices	PLT 機器のノイズ特徴についての WP1A へのリエゾン文書
107	WP 5D	Liaison statement to Joint Task Group 4-5-6-7 (copy to Working Parties 1A, 1B, 4A and 5A for information) - Status of compatibility study between FSS networks and IMT systems in the band 3 400-3 600 MHz for small cell deployments	スモールセル展開のための 3400-3600 MHz 帯の FSS ネットワーク及び IMT システム間の互換性研究状況についての JTG4-5-6-7 へのリエゾン文書
108	ITU-T SG 15	Liaison statement on determination of the ITU-T G.fast PSD specification	ITU-T G-fast PSD 仕様についてのリエゾン文書
109	JTG 4-5-6-7	Liaison statement to Working Party 5D (copy for information to WPs 1A and 6A) - Adjacent band compatibility between the IMT uplink and digital terrestrial television (DTT) broadcasting under WRC-15 agenda item 1.2	WRC-15 議題 1.2 の IMT アップリンク及び DTT ブロードキャスティング間の互換性の隣接帯域についての WP5D へのリエゾン文書
110	WP 7D	Liaison statement to Working Party 1A - Coexistence of wired telecommunication (including PLT) with radiocommunication systems - Streamlining future cooperation within ITU-R and liaison with ITU-T	PLT を含む有線通信と無線システムの共存についてのリエゾン文書 - 将来の ITU-R の中での協力と ITU-T とのリエゾン
111	ITU-T JCA-AHF	Liaison statement on draft revision of Recommendation ITU-R M.1076	勧告 ITU-R M.1076 のドラフト改定に関するリエゾン文書
112	ITU-T JCA-AHF	Liaison statement on draft revision of Recommendation ITU-R M.1076 "Wireless communication systems for persons with impaired hearing" (reply to Document 5B/110)	勧告 ITU-R M.1076(聴覚障害者のための無線通信システム)のドラフト改定に関するリエゾン文書 (Doc 5B/110 への返信)
113	Director, BR	CISPR letter on the use of the band 8.3-9 KHz	8.3-9KHz 帯の利用に関する CISPR 文書
114	WP4A	Liaison statement to Working Party 5D (copy to Joint Task Group 4-5-6-7 and Working Party 1A) - Start of work towards two preliminary draft new Recommendations ITU-R M.[IMT.OOBE.X] on generic unwanted emission characteristics of base stations and mobile stations using the terrestrial radio interfaces of IMT-Advanced	WP5D 宛リエゾン文書 : IMT-Advanced 地上系無線インタフェースを用いる基地局と移動局の一般的な不要輻射特性に関する 2 つの新勧告草案に向けた作業の開始
115	CISPR	Reply to Working Party 1A liaison statement on study on Question ITU-R 210-3/1 "Wireless power transmission"	Question ITU-R 210-3/1 "WPT"の研究に関する WP1A リエゾン文書への返信
116	WP5D	Liaison statement to Working Party 4A (copy to JTG 4-5-6-7 and WP 1A) - Summary of generic unwanted emission characteristics found in Recommendations ITU-R M.1580 and ITU-R M.1581 (IMT-2000) and preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[IMT.OOBE X] (IMT-ADVANCED)	WP4A 宛リエゾン文書(JTG 4-5-6-7 と WP1A へコピー) : 勧告 ITU-R M.1580 と M.1581 (IMT-2000) と新勧告草案 ITU-R M.[IMT.OOBE X] (IMT-ADVANCED) の一般的な不要輻射特性のまとめ
117	WP5D	Liaison statement to Joint Task Group 4-5-6-7 (copy to all concerned Groups under WRC-15 agenda item 1.1 (Working Parties 4A, 4B, 4C, 5A, 5B, 5C, 6A, 7B, 7C, 7D, 3K, 3M, and Working Party 1A)) - Sharing parameters for WRC-15 agenda item 1.1	WRC-15 議題 1.1 のためのパラメータの共有についての JTG4-5-6-7 へのリエゾン文書
118	IEC-TC100	Technical Committee 100: Audio, video and multimedia systems and equipment Technical Area 15: Wireless power transfer - Response to the liaison statement of ITU-R Working Party 1A study on Question ITU-R 210-3/1 "Wireless power transmission"	TC100 TA15: ワイヤレス電力伝送—WP1A Question ITU-R 210-3/1 に関するリエゾン文書への回答
119	ITU-T SG 9	Liaison statement on coexistence of wired telecommunications with radiocommunication systems - Consideration with respect to work on Recommendation ITU-T J.195.1 (J.HINOC-REQ)	有線通信と無線システムの共存についてのリエゾン文書 - 勧告 ITU-T J.195.1 (J.HINOC-REQ) の働きに関する考慮
120	WP 6A	Liaison statement to Working Party 1A and ITU-T Study Groups 9 and 5 (and for information to ITU-R Working Parties 5A, 5B, 5C & 5D) - Coexistence of wired telecommunications with radiocommunication systems - Considerations with respect to work on Recommendation ITU T J.195.1 (J.HINOC-REQ)	WP1A と ITU-T SG9 および 5 へのリエゾン文書 (および ITU-R WP5A, 5B, 5C & 5D への情報) - 有線通信と無線システムの共存についてのリエゾン文書 - 勧告 ITU-T J.195.1 (J.HINOC-REQ) の働きに関する考慮
121	WP6A	Liaison statement to Working Party 1A & ITU-T Study Group 15 (and for information to ITU-R Working Parties 5A, 5B & 5C) - Considerations on wired telecommunication systems being developed under G.Fast	WP1A と ITU-T SG15 へのリエゾン文書 (および ITU-R WP 5A, 5B, 5C への情報) - G.Fast の下での開発される有線通信システムの考慮
122	WP5B	Liaison statement to Working Party 1A - Continuing studies towards improved out-of-band roll-off for radars to enhance spectrum efficiency	WP1A 宛リエゾン文書 : レーダー周波数利用効率向上のための改良された帯域外ロールオフ特性に向けた研究の継続

文書 番号 1A/	提出元	表題	
123	WP5B	Liaison statement to ITU-R Working Party 1A and ITU-T Study Groups 5, 9 & 15 for action (copy to ITU-R Working Parties 1C, 3L, 4C, 5A, 5C, 5D, 6A, 7B, 7C and 7D for information) - Coexistence of wired telecommunications (including PLT) with radiocommunication systems - Considerations with respect to work on Recommendations ITU-T G.fast and ITU-T J.195 (J.HINOC-REQ)	ITU-R WP1A と ITU-T SG 5, 9 および 15 へのリエゾン文書 (および ITU-R WP1C, 3L, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 6A, 7B, 7C, 7D への情報) - (PLT を含む)有線通信と無線システムの共存についてのリエゾン文書- 勧告 ITU-T G.fast および ITU-T J.195.1 (J.HINOC-REQ) の働きに関する考慮
124	WPs 5A and 5C	Liaison statement to ITU-T Study Group 9 (copy for information to ITU-R Working Parties 1A, 5B and 6A) - Coexistence of wired telecommunications with radiocommunication systems - Considerations with respect to work on Recommendation ITU-T J.195.1 (J.HiNoC-REQ)	ITU-T SG 9 へのリエゾン文書 (および ITU-R WP1A, 5B, 6A への情報) -有線通信と無線システムの共存についてのリエゾン文書- 勧告 ITU-T J.195.1 (J.HINOC-REQ) の働きに関する考慮
125	WPs 5A and 5C	Liaison statement to ITU-R Study Group 15 (copied for information to ITU-R Working Parties 1A, 5B, 5D and 6A) - Determination of the ITU-T G.fast PSD specification	ITU-R SG15 へのリエゾン文書 (および ITU-R WP1A, 5B, 5D, 6A への情報) - ITU-T G.fast PSD 仕様の決定
126	ITU-T SG 9	Liaison statement on coexistence of wired telecommunications with radiocommunication systems	有線通信と無線システムの共存についてリエゾン文書
127	ITU-T SG 5	Liaison statement on coexistence of wired telecommunications with radiocommunication systems	有線通信と無線システムの共存についてリエゾン文書
128	WP1B	Liaison statement to Working Parties 1A, 4A, 4C, 5A, 5B, 5D, 7B, 7C, 7D and CCV - Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[DYNAMIC ACCESS] - Spectrum management principles and spectrum engineering techniques for dynamic access to spectrum by radio systems employing cognitive capabilities	WP 1A, 4A, 4C, 5A, 5B, 5D, 7B, 7C, 7D and CCV 宛リエゾン文書: コグニティブ無線技術を用いる無線システムによる周波数動的アクセスのための周波数管理の原理と周波数工学技術
129	CISPR SC-H	Liaison to ITU-R on the Database for the protection of radio services	無線サービス保護のためのデータベースに関する ITU-R 宛リエゾン文書
130	WP 4C	Liaison statement to ITU-T Study Group 15 and ITU-R Working Party 1A (copy to ITU-R Working Party 5B for information) - Coexistence of wired telecommunications (including PLT) with radiocommunications systems - consideration with respect to work on Recommendation ITU-T G.fast	ITU-T SG15 および ITU-R WP1A へのリエゾン文書リエゾン文書 (および ITU-R WP5B への情報) -(PLT を含む)有線通信と無線システムの共存についてのリエゾン文書- ITU-T G.fast の働きに関する考慮
131	ITU-T JCA-IoT	Liaison statement on IoT-Roadmap, IoT-work program, contacts and invitation to participate in IoT-GSI events	IoT-Roadmap 等に関するリエゾン
132	WP 6A	Liaison statement to Working Party 1A - Copy to Working Parties 1C, 5A, 5B, 5C and ITU-T Study Group 5 - Recommendations ITU-T K.60 and K.mhn - Coexistence of wired and wireless communication systems	WP1A へのリエゾン文書- WP1C, 5A, 5B, 5C, ITU-T SG 5 への情報) -勧告 ITU-T K.60 および K.mhn - 有線通信と無線システムの共存
133	APT	Liaison statement to ITU-R Working Party 1A	WP1A 宛リエゾン文書
134	ITU-T SG 15	Liaison statement on considerations on wired telecommunication systems being developed under G.fast	G.fast の下での開発される有線通信システムについてのリエゾン文書
135	TTA	Response to liaison statement to external organizations sent out by Working Party 1A regarding Question ITU-R 210-3/1 "Wireless power transmission"	WP1A 発外部団体宛 Question 210-3/1 "WPT" に関するリエゾン文書への返信
136	WP7D	Liaison statement to Working Party 1B (copy to Working Parties 1A, 7B and 7C for information) - Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[DYNAMIC ACCESS] - Spectrum management principles and spectrum engineering techniques for dynamic access to spectrum by radio systems employing cognitive capabilities	WP 1B へのリエゾン文書(WP1, 1B, 7B, 7C へ情報としてコピー): コグニティブ無線技術を用いる無線システムによる周波数動的アクセスのための周波数管理の原理と周波数工学技術に関する新レポート草案 SM.[DYNAMIC ACCESS]に向けた作業文書
137	WP 7D	Liaison statement to Working Parties 1A and 1B - Revision of the ITU Handbook on "National Spectrum Management"	"National Spectrum Management"ハンドブック改訂に係る WP1A 及び 1B へのリエゾン文書
138	GER	Preliminary draft new Question ITU-R [UWTD_DIG_MOD]#1 - Characterisation of the unwanted emissions in the spurious domain for digital modulation technology	新研究課題草案 ITU-R [UWTD_DIG_MOD]: デジタル変調技術のスプリアス領域における不要輻射特性評価
139	Austria , Croatia, Denmark , Finland , Germany, Netherlands, Slovenia, Switzerland, UK	Proposal for a new working document towards a preliminary draft new Report SM.[CHAR-UNWANTED] on the characterisation of the unwanted emission in the spurious domain for broadband digital technology	広帯域デジタル技術のためのスプリアス領域の不要輻射特性評価に関する新レポート草案 SM.[CHAR-UNWANTED] に向けた新作業文書の提案

文書 番号 1A/	提出元	表題	
140	CHN	Proposal for management policy of wireless power transmission devices	WPT 機器の周波数管理方針に関する提案
141+Add.1	CG-WPT (Chairman)	Chairman's Report	CG-WPT 議長報告
142	A4WP	Response to Working Party 1A Liaison Statement to External Organizations - Wireless power transmission (WPT) systems	外部団体宛 WP1A リエゾン文書(WPT システム)への返信
143	Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc.	Comments on working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[SMART_GRID]	新レポート草稿 ITU-R SM.[SMART_GRID] に向けた作業文章についてのコメント
144	GER	On the characterization of unwanted emissions of digital systems	デジタルシステムの不要輻射の特性化について
145	Rohde & Schwarz GmbH & Co. KG	Integrated automated spectrum management and monitoring systems solution	自動スペクトラム管理・監視システムの統合化ソリューション
146	Rapporteur, RG wired and radio	Recent developments concerning coexistence of wired telecommunication systems with Radiocommunication systems	有線通信システムと無線通信システムの共存についての最近の発展
147	CAN	Characterization of the unwanted emissions in the spurious domain for digital modulation technology	ディジタル変調技術のスプリアス領域の不要輻射特性化
148	Rapporteur, RG CAT Handbook	Report of the Rapporteur Group on the revision of the ITU-R Handbook on "Computer aided techniques for spectrum management (2005)"	CAT ハンドブックの改定に関するラポータグループからの報告
149	KOR	Working document towards a preliminary draft revision of the ITU-R Handbook on Computer-Aided Techniques for Spectrum Management (CAT)	CAT ハンドブックの改定草案に向けた作業文書
150	KOR	Working document towards a preliminary draft new Recommendation SM.[WPT] - Wireless Power Transmission (WPT) systems	新勧告草案 SM.[WPT]に向けた作業文書
151	KOR	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[WPT.NON-BEAM] - Wireless power transfer using magnetic induction and magnetic resonance technologies other than radio frequency beam	新レポート草案 SM.[WPT.NON-BEAM]に向けた作業文書
152	JPN	Coexistence studies on the systems using wireless power transmission technologies with incumbent radiocommunication systems in Japan for the development of preliminary draft new Report on wireless power transmission	WPT 新レポート草案のための WPT 技術を用いるシステムと日本の既存無線通信システムとの周波数共存検討
153	JPN	Proposed revision of the working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[WPT.NON-BEAM] - Wireless power transmission using technologies other than radio frequency beam	新レポート草案 SM.[WPT.NON-BEAM]に向けた作業文書の改定提案
154	JPN	Measured data for co-existence studies on wireless power transmission technologies with the incumbent radio systems in Japan	WPT 技術と日本の既存無線システムとの周波数共存検討のための測定データ
155	JPN	Proposed revision of working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R SM.[WPT] - Wireless power transmission (WPT) systems	新勧告草案 SM.[WPT]に向けた作業文書の改定提案
156	JPN	Proposed revision of working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[THZ.TREND] - Technology trends of active services in the band above 275 GHz	ITU-R レポート SM.[THZ_TREND]草案に向けた作業文書の改定案
157	SG 1 Co-Rapporteurs	Interim Report to Working Parties 1A and 1C on the work of the Study Group 1 Co-Rapporteurs on the review of ITU-R Recommendations in the SM Series for the database on ITU-R Recommendations	SM シリーズ ITU-R 勧告の見直しに向けた SG1 ラポータの作業に関する WP1A と WP1C への中間報告
158	WP5B	Liaison statement to ITU-T Study Groups 5, 9, 15 and ITU-R Working Party 1A (copied for information to ITU-R Working Parties 5A, 5C, 5D and 6A) - Liaison statement on coexistence of wired telecommunications with radiocommunication systems	ITU-T SG 5, 9, 15 および ITU-R WP1A へのリエゾン文書-(WP 5A, 5C, 5D, 6A への情報転送) -有線通信と無線システムの共存についてのリエゾン文書
159	WP5B	Liaison statement to Working Parties 1A, 5A, 5C and 5D regarding development of a Report on out-of-band emissions in the 2 700-2 900 MHz frequency band from service operating below 2 690 MHz	2 690 MHz より下の帯域で運用される業務からの 2700-2900 MHz 帯レーダーへの帯域外放射に係るレポートの作成に関する WP 1A, 5A, 5C 及び 5D へのリエゾン文書
160	ITU-T SG9	Liaison statement on additional information on regional regulations related to coexistence of wired telecommunication with radiocommunication systems	有線通信と無線システムの共存に関連する地域の規則化についての付加情報のリエゾン文書

文書 番号 1A/	提出元	表題	
161	ITU-T SG9	Liaison statement on coexistence of wired telecommunications with radiocommunication systems	有線通信と無線システムの共存に関するリエゾン文書
162	BR Study Groups Department	List of documents issued (Documents 1A/105 - 1A/162)	入力文書リスト (文書 1A/105 - 1A/162)
163	Chairman, WP1A	Conclusions from the steering committee (Monday, 2 June 2014)	ステアリングコミッティの結果
164	WP1C	Note from the Chairman of Working Party 1C to the Chairman of Working Party 1A - Coexistence of wired telecommunications (including PLT) with radiocommunication systems - Contact point for Working Party 1C	(PLT を含む)有線通信と無線システムの共存に係る WP1C のコンタクトポイントに関する WP1C 議長から WP1A 議長への覚書
165	Director, BR	Final list of participants - Working Party 1A (Geneva, 3-11 June 2014)	WP1A 最終参加者リスト

表-3 出力文書一覧

文書 番号 1A/ TEMP/	表題		備考 (提出元)
54	Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R SM.1132-2 - General principles and methods for sharing between radiocommunication services	ITU-R 勧告 SM.1132-2 改定草案	WP1A-3
55 (Rev.1)	Liaison Statement to CISPR (copy to ITU-R Working Party 6A) - A database for the protection of radio services	無線サービスの保護に係るデータベースに関する CISPR へのリエゾン文書案 (ITU-R WP6A へ情報提供として送付)	WP1A, WP1B
56(Rev.1) )+Corr.1	Preliminary draft new Report ITU-R SM.[WPT.NON-BEAM] - Wireless power transmission using technologies other than radio frequency beam	新レポート草案 ITU-R SM.[WPT.NON-BEAM]	WP1A-2
57	Preliminary draft new Report ITU-R SM.[THZ.TREND] - Technology trends of active services in the band above 275 GHz	ITU-R レポート SM.[THZ_TREND]草案	WP1A-3
58	A draft revision of ITU Handbook on computer-aided techniques for spectrum management (CAT) dated 10 June 2014	スペクトラム管理用 CAT ハンドブックの改定案	WP1A-3
59	WORKING DOCUMENT TOWARDS A PRELIMINARY DRAFT NEW REPORT ITU-R SM.[SMART_GRID] Smart grid power management systems	新レポート草案 ITU-R SM.[ SMART_GRID ] - Smart grid パワーマネージメントシステム	WP1A-1
60	LIAISON STATEMENT TO ITU-T STUDY GROUP 15 AND COPY FOR INFORMATION TO IEC (TC57 WG20) Cooperation on the narrow-band PLT component of the Smart Grid project	ITU-T SG15 向け (IEC(TC57 WG20)向け情報) リエゾン文書 Smart Grid プロジェクトの狭帯域 PLT に関する協力	WP1A-1
61	LIAISON STATEMENT TO EXTERNAL ORGANIZATIONS Preliminary draft new ITU-R Report on the Smart Grid project	外部機関宛リエゾン文書 Smart Grid プロジェクトに関する新レポート草案	WP1A-1
62	DRAFT LIAISON STATEMENT TO ITU-T STUDY GROUP 15 AND CENELEC, AND COPY OF INFORMATION TO ITU-R WORKING PARTIES 1C, 3L, 4C, 5A, 5B, 5C, 7D - Ensuring that telecommunication systems that depend on the use of radio frequencies have been properly assessed for compatibility and the avoidance of harmful interference	ITU-T SG15 宛リエゾン文書(ITU-R WP 1C, 3L, 4C, 5A, 5B, 5C, 7D ヘコピー)-- 甚大な干渉との等価性と回避性を適切に評価された電波周波数の使用による電気通信システムの保障	WP1A-1
63	DRAFT LIAISON STATEMENT TO WORKING PARTY 3L COPY TO ITU-R WORKING PARTIES [1C, 5A, 5B, 5C, 7D?] - Noise Characteristics of PLT Devices	WP3L 宛リエゾン文書(ITU-R WP 1C, 3L, 4C, 5A, 5B, 5C, 7D ヘコピー)-- PLT デバイスのノイズ特性	WP1A-1
64	DRAFT LIAISON STATEMENT TO ITU-T STUDY GROUP 15, , AND 5 COPY TO ITU-R WORKING PARTIES 1C, 3L, 4C, 5A, 5B, 5C, 7D FOR INFORMATION Excessive levels of radio frequency noise in the environment	ITU-T SG15 および 5 宛リエゾン文書(ITU-R WP1C, 3L, 4C, 5A, 5B, 5C, 7D ヘ情報としてコピー) - 環境の中の電波周波数ノイズの超過レベル	WP1A-1
65	DRAFT LIAISON STATEMENT TO ITU-T STUDY GROUP 15 COPY TO ITU-R WORKING PARTIES 4C, 5A, 5B, 5C, 7D Considerations on the G.9700 power spectral density (PSD) limit mask	ITU-T SG15 宛リエゾン文書(ITU-R WP 4C, 5A, 5B, 5C, 7D ヘコピー)-- G.9700 パワースペクトル密度 (PSD) リミットマスクの考慮	WP1A-1
66	DRAFT LIAISON STATEMENT TO THE BROADBAND FORUM AND COPIES FOR INFORMATION TO ITU-T STUDY GROUP 15 AND ITU-R WORKING PARTIES 1C, 3L, 4C, 5A, 5B, 5C, 7D- Specifications and performance of cabling intended for use with G.fast	BROADBAND FORUM 宛リエゾン文書 (ITU-R WP 1C, 3L, 4C, 5A, 5B, 5C, 7D ヘ情報コピー)-- G fast と共に使用しようとするケーブル仕様と性能	WP1A-1
67	DRAFT LIAISON STATEMENT TO ITU-T STUDY GROUP 9 AND 5,AND ITU-R WORKING PARTIES 1C, 3L, 4C, 5A, 5B, 5C, 7D - Leakage from radio frequency energy from J.HiNoC systems	ITU-T SG9 および 5 宛リエゾン文書(ITU-R WP 1C, 3L, 4C, 5A, 5B, 5C, 7D ヘ情報コピー)-- J.HiNoC システムからの電波周波数エネルギー漏洩	WP1A-1
68	Draft liaison statement to the Institute of Electrical and Electronics Engineers (IEEE) - Preliminary draft new Report ITU-R SM.[THZ_TREND] - Technology trends of active services in the bands above 275 GHz	ITU-R レポート SM.[THZ_TREND]草案に関する IEEE へのリエゾン文書	WP1A-3
69	Draft liaison statement to Working Parties 7C and 7D - Preliminary draft new Report ITU-R SM.[THZ_TREND] - Technology trends of active services in the bands above 275 GHz	ITU-R レポート SM.[THZ_TREND]草案に関する WP7C と WP7D へのリエゾン文書	WP1A-3
70	Meeting Report for Working Group 3 - Computer aided techniques Handbook and other issues	WG3 議長報告	WP1A-3
71	DRAFT LIAISON STATEMENT TO ITU-T STUDY GROUP 5, WITH COPIES FOR INFORMATION TO ITU-R WORKING PARTIES 1C, 3L, 4C, 5A, 5B, 5C, 7D - ITU-R interest in K series recommendations	ITU-T SG5 宛リエゾン文書(ITU-R WP 1C, 3L, 4C, 5A, 5B, 5C, 7D ヘ情報コピー) - K シリーズの勧告への ITU-R の関心	WP1A-1
72	Draft editorial modification of Recommendation ITU-R SM.1541-5 - Unwanted emissions in the out-of-band domain	勧告 ITU-R SM.1541-5 - 帯域外領域の不要輻射へのエディトリアル修正ドラフト文書	WP1A-2
73	Draft liaison statement to Working Party 5B - Continuing studies towards improved out-of-band roll-off for radars to enhance spectrum efficiency	WP5B 宛ドラフトリエゾン文書 --- レーダ一周波数利用効率向上のための改良された帯域外ロールオフ特性に向けた研究の継続	WP1A-2

文書 番号 1A/ TEMP/	表題		備考 (提出元)
74	Liaison statement to Working Party 6A - Recommendation ITU-R SM.1541-5 - Unwanted emissions in the out-of-band domain	WP6A 宛 リエゾン文書 -- 勧告 ITU-R SM.1541-5 - 帯域外領域の不要輻射	WP1A-2
75	Draft liaison statement to Working Parties 4A, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 6A, 7B, 7C and 7D (copy to Working Parties 1B and 1C) - Characteristics of the unwanted emissions in the out-of-band and spurious domains for digital modulation technology used in broadband communication systems	WP 4A, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 6A, 7B, 7C, 7D 宛 ドラフトリエゾン文書(WP 1B, 1C ヘコピ) - 広帯域通信システムに用いられるデジタル変調技術のための帯域外とスプリアス領域の不要輻射特性	WP1A-2
76	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[CHAR-UNWANTED] - Characteristics of the unwanted emissions in the out-of-band and spurious domains for digital modulation technology used in broadband communication systems	新レポート草案 ITU-R SM.[CHAR-UNWANTED] - 広帯域通信システムに使用されているデジタル変調技術のための帯域外とスプリアス領域の不要輻射特性 -- に向けた作業文書	WP1A-2
77	Terms of Reference (ToR) for a Correspondence Group (CG-WPT) on developing content for deliverables related to Question ITU-R 2103/1 Wireless Power Transmission	Question ITU-R 210-3/1 WPT 関連成果物策定のための CG-WPT 参照規約(ToR)	WP1A-2
78	Reply liaison statement to CISPR (copy to ISO/IEC TC 69/JPT 61980-1 and ISO TC22) - Study on Question ITU-R 210-3/1 "Wireless power transmission"	CISPR 宛 (ISO/IEC TC69/JPT 61980-1, ISO TC22 ヘコピ) 返信リエゾン文書 --- Question ITU-R 210-3/1 "WPT"の検討状況	WP1A-2
79	Reply liaison statement to the Alliance for Wireless Power - Study on Question ITU-R 210-3/1 "Wireless power transmission"	A4WP 宛 返信リエゾン文書 --- Question ITU-R 210-3/1 "WPT"の検討状況	WP1A-2
80	Reply liaison statement to Asia Pacific Telecommunity - Study on Question ITU-R 210-3/1 "Wireless power transmission"	APT 宛 返信リエゾン文書 --- Question ITU-R 210-3/1 "WPT"の検討状況	WP1A-2
81	Liaison statement to external Organizations - Study on Question ITU-R 210-3/1 - Wireless power transmission related to wireless power transmission via radio frequency beam	外部団体宛リエゾン文書 --- Question ITU-R 210-3/1 "WPT"に関する周波数ビームによる WPT の検討状況	WP1A-2
82	Reply liaison statement to CISPR (copy to ISO/IEC TC 69/JPT 61980-1 and ISO TC22) - Study on Question ITU-R 210-3/1 "Wireless power transmission"	CISPR 宛 (ISO/IEC TC69/JPT 61980-1, ISO TC22 ヘコピ) への返信リエゾン文書 --- Question ITU-R 210-3/1 "WPT"の検討状況	WP1A-2
83	Working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R SM.[WPT] - Wireless Power Transmission (WPT) systems	新勧告草案 ITU-R SM.[WPT] - WPT システムに向けた作業文書	WP1A-2
84	Liaison statement to external Organizations - Study on Question ITU-R 210-3/1 - Wireless power transmission	外部団体宛リエゾン文書 --- Question ITU-R 210-3/1 "WPT"の検討状況	WP1A-2
85	Reply liaison statement to IEC TC100 [(copy to ISO/IEC TC 69/JPT 61980-1 and ISO TC22)] - Study on Question ITU-R 210-3/1 - Wireless power transmission	IEC TC100 宛 (ISO/IEC TC 69/JPT 61980-1, ISO TC22 ヘコピ) 返信リエゾン文書--- Question ITU-R 210-3/1 "WPT"の検討状況	WP1A-2
86	Reply liaison statement to Telecommunications Technology Association - Study on Question ITU-R 210-3/1 - Wireless power transmission	TTA 宛 返信リエゾン文書--- Question ITU-R 210-3/1 "WPT"の検討状況	WP1A-2
87	Meeting Report for Working Group 2 - Wireless power transmission, radio protection and unwanted emissions	WP1A-2 報告書 - WPT、無線保護、不要輻射	WP1A-2